

研究成果報告書 (掲載期間 2021.11.1-2022.10.31)

審査学術論文

- (1) Kazushige Tokuno, Masatoshi Mitsuhara, Shinnosuke Tsuchida, Ryo Tsuboi, Junji Miyamoto, Masahiro Hagino, Takashi Inoue, and Kouki Nishidate, "Tangled Dislocation Structures inside Dislocation Channels of Rapid-Cooled and Tensile-Deformed Aluminum Single Crystals" Journal of Materials Transactions, Vol. 63, No. 4, (2022), pp.562-569
- (2) Junji MIYAMOTO, Kazushige TOKUNO and Masahiro HAGINO, "Effect of Sputtered Fe on the Plasma Nitriding Mechanism of AISI H13 Tool Steel Using Electron-Beam-Excited Plasma", ISIJ International, Vol. 61, No. 11, (2021), pp.2805-2812

学会発表

- (1) 神谷隆太, 花木玲男, 萩野将広, 切削条件が加工後の材料変形に与える影響 (材料変形と残留応力の関係), 第14回 生産加工・工作機械部門講演会予稿集, No.22-13, (2022), pp.71-73, 第14回 生産加工・工作機械部門講演会, 2022年10月, 石川
- (2) 萩野将広, 井上孝司, 辻井修一, 辻井説三, 機械加工後の仕上げ面性状が窒化処理に与える影響 -第2報-, 料とプロセス Vol.35, No.2, (2022), pp.558, 日本鉄鋼協会, 第184回秋季講演大会, 2022年9月, 福岡
- (3) 岡田将人, 加藤将輝, 小林祐次, 斉藤悠太, 萩野将広, 生田明彦, 炭素鋼旋削におけるコーテッド cBN チップへのレーザピーニング処理効果, 料とプロセス Vol.35, No.2, (2022), pp.559, 日本鉄鋼協会, 第184回秋季講演大会, 2022年9月, 福岡

大規模プロジェクト

- (1) 萩野将広: 日本鉄鋼協会, 2022年度研究会 I, 炭素鋼における切削現象の系統的再解明, 幹事, 2022

その他

- (1) 萩野将広: 日本鉄鋼協会, 2022年度研究会 I, 炭素鋼における切削現象の系統的再解明, 奨学寄附金 650 千円 2022
- (2) 萩野将広: 製造・設計に係る研究奨励のため, 株式会社トーカロイ TKG, 奨学寄附金 60 千円 2022
- (3) 萩野将広: 機械加工分野の最近の研究トレンドと工場の情報化, 津山ステンレス・メタルクラスター メタル交流会講演, 2022年9月
- (4) 萩野将広: 超高速現象を見てみよう, 出前授業, 大同大学大同高等学校, 2022年7月
- (5) 萩野将広: CFRP 穴あけ加工環境を改善するための微細切削切りくずの制御, 第111回難削材加工専門委員会, 話題提供, 2022年1月
- (6) 萩野将広: 機械工作法の歴史と情報化, 出前授業, 名古屋市立工業高等学校機械科, 2022年1月
- (7) 萩野将広: 難削材: CFRP が工具刃先に及ぼす影響, 解説記事, 表面技術協会誌, 73巻, 2号, (2022), pp. 82-85